

無理のない教育活動を コロナ禍での現場の声を届ける

越教組ニュース

越谷市教職員組合
ホームページ



越教組は、七月一日に市教委交渉を行いました。今年度は、いまだかつてない新型コロナウィルス(以下コロナ)による長期休校を受けて、また現在もその対応に追われている中で交渉ということ、中心はコロナ対応をめぐるものとなりました。

取り組みの縮小・中止を

支援担当訪問

【組合】今年度の状況では、例年のような教育支援担当訪問は無理。中止してもらいたい。

【市教委】今年度も実施する。ただし、内容は授業公開の形にこだわらず、例えば学校の取り組みを説明し、それに指導をもらうような形も考えられる。各学校で、相談してもらえばいい。

人権の集い

【組合】今年度の状況では、折り鶴やメッセージなどを入れる余裕はない。中止してもらいたい。

【市教委】人権の集いは大事な取り組みとして、今年度も実施する。時間については、各校で工夫してほしい。

団体への申し入れ

【組合】働き方改革、コロナ対応などについて、各団体へ申し入れをしてもらいたい。

【市教委】小体連は陸上天会を中止。音楽部会も市内音楽会を中止。夏休み中の応募については、各学校「必ず一点」というのを「必ず」は取れないかなど要請している。

学力テスト

【組合】県の学力調査中止は県下5市町。越谷市の対応を歓迎する。市の検証テストも中止してもらいたい。

【市教委】市の検証テストは実施したい。このコロナの影響で学力がどうなっているのか把握したい。

出張

【組合】出張の精選をしてもらいたい。

【市教委】休校でテレビ会議というシステムを経験し、このシステムで済ませられるものはないか検討してみたい。

人を増やして

【組合】国の補正予算では、全国に何らかの形で9万人程度を増員することになっている。さいたま市では、すでに全校にスクールサポートスタッフが配置することを決めた。越谷市でも、ぜひ人の配置を進めてほしい。

【市教委】感染対策など、教職員に今までになかった業務が生じていることは承知している。国・県の動向を見ながら、配置

すべての学習内容のカバーは厳しい

【組合】休校での学習内容をすべてカバーすることには無理があるのではないか。
【市教委】2学期末で一・二学期の学習内容が終わっていかればよいとした。実技的教科については、

できる状況になったらスピード感を持って取り組みたい。



市の予算も

【組合】補正予算で本校には四〇〇万円来たが、各校の実情に合わせ、市の予算も出してほしい。
【市教委】災害時の対応

学園構想の目的は

【組合】蒲生学園・川柳学園・明正学園の構想があるが、どのようなねらいがあるのか。
【市教委】今後の児童生徒数の変化への対応もあるが、小中の学区が一致して小学校の子どもたち

月目標四十五時間!

【組合】時間外勤務月45時間の目標は達成できるのか。川口市と月80時間以上の人の割合を比較した。すると9月で4倍、11月で5倍越谷市のほうが多い。本場に、県の働き方改革基本方針にある目標は達成できるのか。
【市教委】越谷市の基本方針を9月策定を目指している。内容のしっかりしたものを作り上げていきたい。また、目標達成に向け、教育委員会規則に月45時間を目標にすることを盛り込んでいきたい。

【組合】目標の月45時間をどういう位置づけで規則に入れるのか。そもそも時間外労働は労基法違反だ。時間外労働は認められない。そこをしっかりと据えて対応してほしい。
【市教委】校長は、(仮)蒲生小・(仮)蒲生中になぜか配置するのをはじめ、各小中学校に一人ずつ配置する。教職員も標準定数で配置する。

